

令和7年度 山口大学における教育の内部質保証に関する自己点検・評価結果による改善事項及び改善策

●教育課程

No ()は大学機関別 認証評価の分析 項目番号	改善事項	対応状況及び改善案	計画の 進捗状況	推進責任者	改善策
1 (6-2-1)	一部研究科の教育課程方針において、教育課程方針に研究指導に関する方針や学位論文等の評価の方針が含まれていない。	当該研究科については、令和7年度に設置され、令和8年度末に完成年度を迎えたため、令和9年度に教育課程方針の改定を行う予定としている。 なお、改定案の作成は完了しており、改定の準備は既に整っている。	☐ 検討中 ☐ 対応中 ☒ 対応済 ☐ その他 ()	副学長 (教育学生担当)	
2 (6-8-1)	一部の学部・研究科において、修業年限×1.5年以内卒業（修了）率が基準に満たない年度がある。	学生ケア体制、修学指導体制、進路指導体制及び研究指導体制等の充実や研究の進捗の状況の定期的な確認等を行い改善に努める。 学部においては、休学・退学の原因分析に基づき、入学後のミスマッチの防止や学習フォロー体制の強化、関係教員間での早期の情報共有をおこなう。	☐ 検討中 ☒ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()	副学長 (教育学生担当)	学生ケア体制、修学支援指導体制、進路指導体制及び研究指導体制等の充実や研究の進捗状況の定期的な確認等を行い改善に努めること。 学部においては、引き続き学習フォロー体制の強化を実施するとともに、関係教員間での早期の情報共有を行うことで、該当学生へのフォローの充実を図ること。
3 (6-8-2)	教育学部において、学部が掲げる教員就職率の目標値に達していない。	教員就職率の向上に向け、入学段階での意欲の高い学生の確保、在学生への教職への意欲を高める支援（学生が主体となり企画・運営する教育イベントの開催や自治体の学習支援事業への参加等）、教員採用試験対策講座の開講などの取組をおこなう。	☐ 検討中 ☒ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()	副学長 (教育学生担当)	当該学部が主体となり、入学段階での意欲の高い学生の確保、在学生の教員意欲を高める支援のさらなる充実等、教員就職率の向上のための対応を引き続き行うこと。
4 (6-9-1)	一部研究科において、収容定員を超過又は未充足となっている状況である。	基準を満たしていない研究科において、収容定員超過、未充足に対応するため、広報体制の強化や、各種支援制度及び期間短縮修了制度の周知等の改善策を講じ、改善に努める。	☐ 検討中 ☒ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()	副学長 (教育学生担当)	適正な入学者数の確保のための取組を行い、収容定員充足率の適正化を図ること。

●学生支援・受入

No ()は大学機関別 認証評価の分析 項目番号	改善事項	対応状況及び改善案	計画の 進捗状況	推進責任者	改善策
1 (5-3-2)	一部研究科において、実入学者数が入学定員を大幅に超える又は下回っている。	大学院入試委員会において報告された適正化を図る取組を実施し、各研究科において、入学者数の適正化を図る。 入学定員を超過している場合、入学定員を上回る合格者を出した理由や入学定員を超過した原因を精査し、定員増、複数回入試による分離募集等を検討する。 入学定員を下回っている場合、入試広報、入学者選抜方法、入学定員減などの検討を行う。	☐ 検討中 ☒ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()	副学長 (教育学生担当)	大学院入試委員会にて報告された適正化を図る取組等をおこない、各研究科において、入学者数の適正化を図ること。